

第 69 回 薬事エキスパート研修会 PGx 技術を応用した個の医療推進の国際的現状と展望

主 催 財団法人日本公定書協会
後 援 日本製薬団体連合会
日本製薬工業協会
社団法人東京医薬品工業協会
大阪医薬品協会
日本 OTC 医薬品協会
日本ジェネリック製薬協会

米国研究製薬工業協会(PhRMA)
欧州製薬団体連合会(EFPIA Japan)
日本 CRO 協会
社団法人日本医薬品卸業連合会
財団法人ヒューマンサイエンス振興財団

より有効で安全な医薬品の開発を目指して、従来の人種差や民族差要因などに注目し患者を集団として捉えて有効性や安全性を評価する手法に加えて、個人差要因に注目し、レスポンドーやノンレスポンドーとして捉えて新薬を開発・評価する手法が国際的に導入されつつあります。

従来は医薬品を投与したのちに、個々の患者の反応性により投与量を調節したり、生化学検査などにより、薬物代謝酵素の個人差を明らかにして投与量を調節するなどの方法が行われてきました。これに加えて、近年の遺伝子解析手法の発達により、個々の患者の SNPs (一塩基遺伝子多型) 解析を行うことにより、個人差を明らかにする PGx (ファーマコゲノミクス) 技術が医薬品分野に導入されてきました。PGx 技術は個人差要因を遺伝子レベルで検出するための有力な手段であり、イリノテカンやワルファリンなどへの応用が既に実現しています。

SJS (スティーブンス・ジョンソン症候群) 等のように、従来はほとんどその発生を予測することが不可能であった極めて稀で重篤な副作用に関しても、トキシコゲノミクス手法を用いて、ある程度予測できる可能性も出てきております。

本研修会では、このような観点から、個の医療研究の最前線、特に、PGx 手法の導入の国際的な状況を紹介し、今後の展望を探ります。多数の皆様のご参加を頂きますようご案内申し上げます。

【日時及び場所】

日 時	場 所
平成 21 年 12 月 18 日(金) 13:00~17:00	日本薬学会 長井記念ホール 東京都渋谷区渋谷 2-12-15 Tel. 03-3406-3326 地図は協会ホームページをご覧ください

【申込要領】

1. 申込方法及び期日

(1) 下記の**払込取扱票**にてお申し込み下さい。

法人会員：当協会から送付する規定の払込取扱票使用

法人会員以外：

ゆうちょ銀行、郵便局備えつけの払込取扱票使用

振込先：(財)日本公定書協会

振替口座 00190-9-97409

* 次の事項を**払込取扱票の通信欄**にご記入の上、受講料をご送金下さい。平成 21 年 11 月 18 日(水)より聴講券をお送り致します。郵便振替払込金受領証をもって領収証に代えさせていただきます。

通信欄に必ずご記入下さい。

- (1) **会社名、所属**
- (2) **聴講者名**：1 枚につき 1 氏名
- (3) **連絡先**：郵便番号、住所、電話番号
- (4) 「69-PGx」の文字
- (5) e-mail (研修会の案内をご希望の方のみ)

* **ゆうちょ銀行及び郵便局以外の銀行振込、現金送金はご遠慮願います。** なお、受講料受領後の払い戻しは致しませんので、予めご了承下さい。

(2) 入金確認順に受け付けます。

平成 21 年 12 月 4 日(金)以降のお振り込みの場合は下記問合先にご連絡下さい。又は、協会ホームページ(<http://www.sjp.jp>)をご覧ください。

2. 受講料(消費税込)：要旨集代を含みます。

・日本公定書協会法人会員

1 名につき 10,000 円

(法人会員は 1 口につき 4 名が会員扱い)

・個人会員/非会員 1 名につき 15,000 円

・行政/アカデミア/医療機関/学生

1 名につき 3,000 円

3. 問合先

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 2-12-15

財団法人 日本公定書協会

電話 03-3400-5634(代)

03-3400-5644

(薬事エキスパート研修会担当)

4. 注意事項

- 法人会員にお送りした規定の払込取扱票は、会員証となりますので、必ず関係部門へお廻し下さい。
- 当日、撮影及び録音はご遠慮願います。
- 原則として電話、FAX、での受付及び当日受付は致しませんのでご了承下さい。

第 69 回 薬事エキスパート研修会
PGx 技術を応用した個の医療推進の国際的現状と展望

平成21年12月18日（金） 日本薬学会 長井記念ホール
（受付開始予定 12:00）

13:00～13:05 開会挨拶

寺尾 允男
（日本公定書協会会長）

13:05～13:45 国際的に見た個の医療研究の現状と将来への期待

宮田 満
（日経 BP 社医療局主任編集委員）

13:45～14:25 トキシコゲノミクス研究の現状と将来への期待

漆谷 徹郎
（同志社女子大学薬学部教授、
（独）医薬基盤研究所基盤的研究部門トキシコゲノミクス・
インフォマティクスプロジェクトリーダー）

14:25～15:05 イリノテカン（カンプト）による治療と PG x

関根 信幸
（株式会社ヤクルト本社医薬学術部学術課長）

15:05～15:20 休 憩

15:20～16:00 ワルファリンの投与量最適化における PG x 技術活用の可能性

土肥口 泰生
（エーザイ株式会社信頼性保証本部安全管理部）

16:00～17:00 総合討論

共同司会：田邊 忠（日本公定書協会研修企画コーディネーター）
土井 脩（日本公定書協会理事長）

（演題、講師、時間等一部変更する場合がありますので、予めご了承下さい。）